

事業所名

ドリームケアデイサービス如意谷

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

30日

法人（事業所）理念		<p>・福祉で「笑顔」を届ける 内発的なうれしさや楽しさは、「笑顔」というかたちで表現されます。楽しい気持ちを押し付けるのではなく、自然に笑顔になれるような場所として、利用する方たちを第一に考えることを大切にしています。 利用して下さる方たちが楽しんでいると、自然とその保護者やサポートする人々も笑顔になれます。 利用者の感じる楽しさや嬉しさを大事にするために「福祉で」「笑顔」を届ける」を経営理念としております。</p>							
支援方針		<p>・遊びながら学べる療育支援 「子どもは遊ぶのが仕事」という言葉もあるように、障害の有無にかかわらず、子供にとっての遊びはとても大切な成長のチャンスです。療育支援をあそびながら行うことにより、楽しみながら様々なサポートを提供することができます。</p> <p>学校や家庭とは違った放課後等デイサービスならではの遊びは、子どもへの大きな刺激となるだけではなく、新しい発見や感覚を与えることができるのもポイントです。</p>							
営業時間		※	10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>・基本的な生活スキルの獲得 こどもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的な技能を獲得できるよう、生活の場面における環境の工夫を行いながら、こどもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をします。</p>							
	運動・感覚	<p>・余暇・自由遊び 余暇・自由遊びではダンス等の粗大運動や工作、ごっこ遊びやパーティーゲームなど多様に取り組める環境で、個別、小集団で好きなことに参加します。また、近くの公園に遊びに行くこともあります。 ・早期療育プログラム 微細運動（手先・指先を使った遊び） 微細運動で抹消感覚神経の機能向上を目的としています。 ・音楽を使ったスヌーズレン（リラックス） 肢体が不自由なお子さまに対しては光や音楽などでリラックスしながら、「視覚」「聴覚」「触覚」「嗅覚」の感覚刺激の訓練も行います。</p>							
	認知・行動	<p>・学習支援 学校での授業内容を参考にご家庭と連携しながら言葉や数の概念など今後の生活に必要な学習能力を身に付けます。学校からの課題があるお子様は、課題に取り組むスケジュールを指導員と相談し、同意を得た上で取り組みます。 ・読み書き・工作・絵など 試行錯誤を繰り返す、考える力・想像力を養うプログラムを考える力や学習に対する準備力向上につなげます。 ・おやつ おやつでは1人50円分の予算内で、食べたいものを自由に選択する事により、お金の計算や金銭感覚を学ぶ練習をします。</p>							
	言語 コミュニケーション	<p>・共感的コミュニケーション 言葉がある場合もそうでない場合も、どちらも、本人の伝えたいことが表出されるよう、本人の伝えたいことの把握から始め、どのような内容にも共感的に対応し、伝える・伝わったや、わかってもらえたという経験を重ねることで、自分のことを伝えるちからを育みます。 ・小集団でのレクリエーション 小集団での様々なレクリエーション（感覚あそび、工作、カラオケ、ダンス、ボール遊び、外遊び等）をとおして言語、コミュニケーション能力を養います。</p>							

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団でのレクリエーション <p>小集団での様々なレクリエーション（感覚あそび、工作、カラオケ、ダンス、ボール遊び、外遊び等）を通してルールやマナーを学び人間関係の構築力や社会性を養います。異年齢の集団内では、お世話したり、されたりの関係性から、自然発生的に行動や言語のモデリングが行われたり、リーダーシップや自己肯定感を育てる関わりができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーション活動（買い物・仕事ごっこ等 疑似体験） <p>あおしび感覚を通じた種々教材を提供し、他との関わりあい活動をトレーニングをとおして自己に対する認識の確かさとこころの豊かさ、他人との関わり合い、コミュニケーション能力、集団生活、社会活動に対する適応能力、対自然というものへの関係性や認識を養います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動遊びへの支援 <p>周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。</p>		
	家族支援	<p>相談支援事業所、子ども家庭支援センター、児童相談所、福祉事務所などと連携し、お子様本人やご家族に必要なサービスを考えつなげています。</p> <p>学校公開や学校行事に参加し、施設外での様子を把握し、必要に応じて学校生活での支援を行います。ご家庭内での困りごとがある場合には、必要な助言を行い環境調整などの支援を行います。</p>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進級・入学等のライフステージの切り替えを見据えた将来的な以降に向けた準備 <p>学校公開や運動会などのイベント参観、学校との連携を通し、施設以外のお子様の様子も把握した上でどの環境でも適切な支援が受けられ、地域の中で安心して日常生活を送ることを目指しています。</p>
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携 <p>相談支援事業所、学校、子ども家庭支援センター、児童相談所、福祉事務所などお子様本人に関係する様々な機関と連携し、お子様本人やご家族に必要なサービスを考えつなげています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との連携 <p>他事業所と必要な際は利用者からの承諾のもと必要な情報を共有し、サービスの向上につながるよう連携しています。</p>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員研修 ・スキルアップの為の研修 ・法廷研修（感染、身体拘束、虐待防止など） ・防災に関する研修 ・ケース検討会
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・お買い物体験 <p>春休み・夏休み・冬休みなどの長期休みには昼食を会に行く体験をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節あそび <p>春 散歩・お花見 夏 水遊び 秋 落ち葉集め・どんぐり拾い・ハロウィン 冬 コマ回し・かるた・雪遊び・クリスマス会</p>		

※ 営業時間 平日 10:00～18:00 土曜日・祝日・長期休暇 10:00～16:00